

フォーマ・アルファ

Forma Alpha

ダイオードレーザー／キセノン光線治療器



ダイオードレーザーによる長期減毛と 各種IPLの治療が 1台でできる複合治療器

フォーマ・アルファは、部位を問わず全身の減毛治療が可能なダイオードレーザーと各種IPL治療が行える、汎用性の高い複合治療器です。

はじめての治療器導入にも、追加導入にも運用しやすい1台です。

適応症例

- ダイオードレーザー

長期的な減毛

- IPL

温熱効果による血流改善、疼痛・炎症の緩解



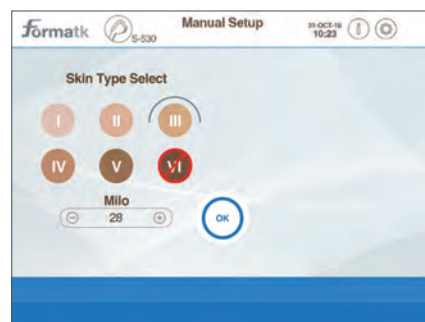
「フォーマ・アルファ」が選ばれる理由

✕ 1台で幅広い治療に対応

減毛からIPL治療まで、患者様のさまざまなお悩みに対応します。

🕒 簡単パラメータ設定

「スキントypes」と「ヘアタイプ」を選択すると、自動でパラメータが表示されます。



⚡ フルエンス・パルス幅の独立可変も

患者様のスキントypesやヘアタイプによって、設定をカスタマイズすることもできます。

¥ 優れたコストバランス

はじめて、または追加で導入する減毛レーザー・IPL治療として、扱いやすさと高い汎用性を備えています。
目的やニーズ、予算に合わせてハンドピースをあとから追加することもできます。





使いやすく、
スピーディな治療を
実現

高い繰返し周波数 10Hz

最大10Hz*の繰返し周波数で、短時間照射が可能です。

*ALDハンドピース

コンタクトクーリング

肌の表面を保護します。

冷却ガス不要で、オゾン層破壊に繋がるフロンや温室効果ガスを発生させる心配がないとされています。



フットスイッチも標準装備

ハンドピースのトリガーボタンでもフットスイッチでも照射が可能です。

100V電源

100Vの電源で使用でき、設置のための特別な工事は必要ありません。

バランスのよい
808nm

メラニンへの吸収性と深達性の
両立を実現し、幅広い肌質・
毛質に対応する減毛レーザーです。

ALDハンドピース

LLDハンドピース

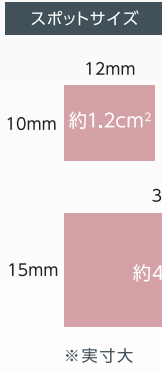
ALDハンドピース (Small)

顔や指などの狭い範囲、または曲線のある部位への照射に適しています。

LLDハンドピース (Large)

四肢や背中などの広範囲な部位にもスピーディな治療が可能です。

	ALDタイプ (Small)	LLDタイプ (Large)
スポットサイズ	10×12mm (1.2cm ²)	15×30mm (4.5cm ²)
フルエンス	2～40J/cm ²	2～28J/cm ²
パルス幅	10～400msec	25～400msec
繰返し周波数	1～10Hz	1～3Hz
重量	1.5kg	1.5kg



選べるモード

ショット式

蓄熱式

患者様に合わせて、スタンダードなショット式（熱破壊式）と
痛みを抑える蓄熱式のモードを選択できます。

選べる
 IPLハンドピース

照射部位や肌状態に応じて選択できる
IPL ハンドピースで幅広い施術の
ニーズに対応します。



S-430タイプ



S-530タイプ



L-530タイプ



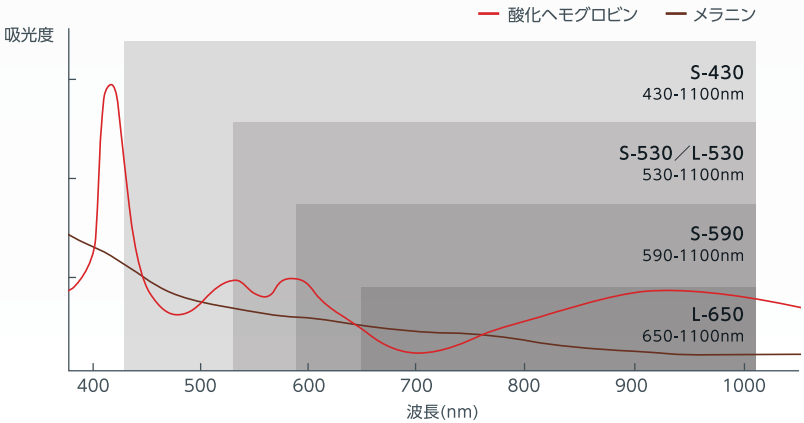
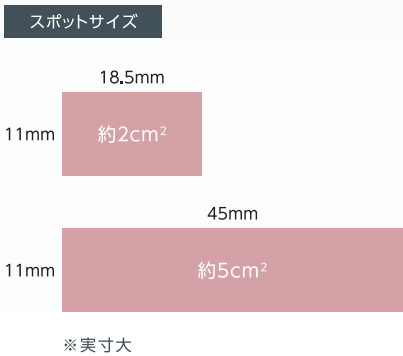
S-590タイプ



L-650タイプ



波長	430-1100nm	530-1100nm	530-1100nm	590-1100nm	650-1100nm
スポットサイズ	11×18.5mm (約2cm ²)	11×18.5mm (約2cm ²)	11×45mm (約5cm ²)	11×18.5mm (約2cm ²)	11×45mm (約5cm ²)
フルエンス	4～45J/cm ²	4～45J/cm ²	3～35J/cm ²	4～45J/cm ²	3～35J/cm ²
パルス幅	5～50msec	5～50msec	5～50msec	5～50msec	5～50msec
繰り返し周波数	0.5～3.0Hz	0.5～3.0Hz	0.5～2.0Hz	0.5～3.0Hz	0.5～2.0Hz
重量	1.6kg	1.6kg	1.6kg	1.6kg	1.6kg



引用：Clinical Photomedicine (p.29), by Lim HW, Soter NA, et al., 1993,
New York: CRC Press. Copyright © 1993 by Marcel Dekker Inc.

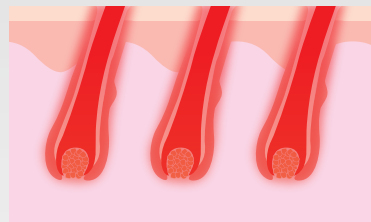


レーザー脱毛のターゲットとメカニズム

毛乳頭からシグナルを受け取った幹細胞が活性化し、毛母細胞の増殖・分化により毛が成長することや、毛隆起（バルジ）に毛包幹細胞が存在することから、現在ではこれらがレーザー脱毛のターゲットと考えられています。

レーザー脱毛では、選択的光熱融解理論の応用により、メラニン色素を有する毛がヒーターの役割をし、毛の再生に関わる細胞に熱損傷を与え、毛の再生を抑制します。

イメージ図



ショット式（熱破壊式）と蓄熱式

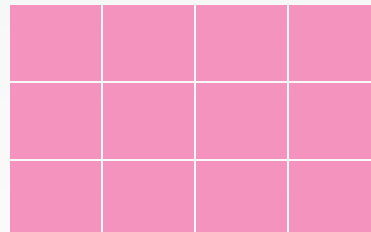
レーザー脱毛には、照射方法が異なるショット式（熱破壊式）と蓄熱式があります。

｜ショット式（熱破壊式）

選択的光熱融解理論を根拠に、熱損傷に必要なフルエンスのレーザーを1ショットで照射する方法です。手技が簡便で、開発当初からのスタンダードな照射方法です。

毛のメラニンに吸収されたレーザー光のエネルギーは、熱に変換され、その熱の拡散を利用することで、毛包に熱損傷を与えます。ターゲットを含む毛包（毛包径200～300μm）を選択的に熱損傷させる理想のパルス幅は、10～50msecかそれ以上と考えられています。¹⁾

イメージ図



｜蓄熱式

低フルエンスのレーザーを5～10Hz（1秒間に5～10ショット）で高速連続照射する方法です。徐々に温度を上昇させるため、過剰な温度上昇を防ぎ、ショット式（熱破壊式）に比べ、痛みが少ないといわれています。

ヒーターとなる毛を介して毛包に熱損傷を与えるだけでなく、表皮メラニンへの蓄熱を利用することで、皮膚表面に熱膜を形成して毛包を熱変性させることにより、メラニン含有量が少ない軟毛や産毛にも効果があるとされています。



※効果のあらわれ方や痛みの感じ方には、個人差があります。

参考文献

1) Grossman MC, Dierickx C, Farinelli W, et al: Damage to hair follicles by normal-mode ruby laser pulses. J Am Acad Dermatol 35: 889-894, 1996

学術監修：つかはらクリニック 院長 塚原 孝浩 先生

Forma Alpha

仕様

*本仕様値は、公称値です。

一般的名称	ダイオードレーザー／キセノン光線治療器
波長	ALD・LLD：808nm IPL：430nm、530nm、590nm、650nm
パルス幅	ALD：10～400msec LLD：25～400msec IPL：5～50msec
モードの種類	ALD・LLD：Single、Power Motion、Fast、100msec、400msec IPL：Single、Double、Triple、Continuous
フルエンス	ALD：2～40J/cm ² LLD：2～28J/cm ² IPL：3～45J/cm ²
繰返し周波数	ALD：1～10Hz LLD：1～3Hz IPL：0.5～3.0Hz
スポットサイズ	ALD：10×12mm(1.2cm ²) LLD：15×30mm(4.5cm ²) IPL：11×18.5mm(約2cm ²)、11×45mm(約5cm ²)
冷却温度	ALD・LLD：5℃ IPL：5℃、10℃、15℃、OFF
外形寸法	625(W)×551(D)×547(H)mm (本体のみ)
重量	27kg (本体のみ)
定格電源	100～240V、7.8A、50/60Hz
医療機器製造販売承認番号	30300BZX00238000
クラス分類	クラスⅢ 高度管理医療機器・特定保守管理医療機器・設置管理医療機器
レーザー製品のクラス分け	クラス4
使用目的又は効果	本品は、レーザーの選択的熱作用による長期的な減毛、およびキセノンフラッシュランプより発生させた連続したスペクトル光の温熱効果による血流改善、疼痛・炎症の緩解を目的としている。
製造元	Formatk Systems Ltd.(イスラエル)
製造販売元	株式会社ジェイメック
販売名	フォーマ・アルファ

※商品の仕様、外観および価格は改良のため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
※Forma Alpha は、株式会社ジェイメックの登録商標です。

標準セット内容

本体	1台
ハンドピース	1本
フットスイッチ	1個
専用カート	1台
電源ケーブル	1本
保護めがね類(施術者用/患者用)	1式



保護めがね(施術者用)



保護めがね(患者用)



保護めがね(患者用)
パシエントアイプロテクタ

オプション

各種ハンドピース

■ JMEC公式サイト(製品ページ)



■ はじめての美容医療 患者様向けサイト



JMEC 株式会社ジェイメック
FOR THE PATIENTS' SMILE

東京本社 〒113-0034 東京都文京区湯島3-31-3 湯島東宝ビル
TEL. 03-5688-1803 FAX. 03-5688-1805
札幌支店 TEL. 011-748-4311 FAX. 011-748-4312
名古屋支店 TEL. 052-238-1045 FAX. 052-238-1046
大阪支店 TEL. 06-6388-1866 FAX. 06-6388-1151
九州支店 TEL. 0957-35-8300 FAX. 0957-35-8301

<https://www.jmec.co.jp>